

## (2) 平成31年(令和元年)度月別の気象概況

4月	<p>上旬：初めと終わりに低気圧や前線の影響で曇りや雨となったが、中頃を中心に高気圧に覆われたため、晴れの日が多くなった。また、中頃は暖かい空気に覆われたが、初めと終わりは寒気の影響のため、寒暖の差が大きくなった。</p> <p>中旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日もあった。</p> <p>下旬：低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなった。気温は、前半は暖かい空気に覆われて高く、後半は冷たい空気の影響で低くなった。</p>
5月	<p>上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日もあった。</p> <p>中旬：高気圧に覆われて晴れの日が多かったが、気圧の谷の影響により曇りや雨の日もあった。また、暖かい空気に覆われることが多く、気温は高くなった。</p> <p>下旬：期間の初めと終わりに前線や低気圧の影響で雨や曇りとなったが、期間中頃を中心に高気圧に覆われたため、晴れの日が多くなった。</p>
6月	<p>上旬：期間の前半は移動性高気圧に覆われて晴れの日もあったが、後半は梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなった。なお、関東甲信地方は6月7日ごろに梅雨入りしたとみられる(速報値)。</p> <p>中旬：高気圧に覆われ晴れの日が多くなったが、15日から16日にかけては低気圧からのびる前線が北上したため、雷を伴い大雨となった所があった。</p> <p>下旬：梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が多くなった。</p>
7月	<p>上旬：梅雨前線や低気圧の影響で曇りや雨の日が続いた。また、オホーツク海高気圧からの冷たく湿った空気の影響で気温が低くなった。</p> <p>中旬：梅雨前線や低気圧の影響により、曇りや雨の日が続き、日照時間がかなり少なくなった。また、オホーツク海高気圧からの冷たく湿った空気の影響で、期間の中頃にかけて気温が低くなった。</p> <p>下旬：期間の初めは低気圧や梅雨前線の影響で雨や曇りの日があった。中頃からは太平洋高気圧が張り出し晴れた日もあったが、台風第6号から変わった熱帯低気圧が通過して雨の降った日もあった。関東甲信地方は29日ごろに梅雨明けしたとみられ(速報値) その後は晴れて暑い日があった。</p>
8月	<p>上旬：太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多く、気温のかなり高い日が続いた。</p> <p>中旬：太平洋高気圧に覆われて晴れの日があったが、期間の中頃までは台風第10号の影響により、期間の終わりには本州付近に停滞した前線の影響で曇りや雨の日となり、雷を伴った日もあった。</p> <p>下旬：前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなった。</p>
9月	<p>上旬：前半は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日があったが、後半は太平洋高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。なお、8日から9日にかけては台風第15号の影響により暴風雨となった。</p> <p>中旬：高気圧に覆われて晴れの日があったが、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日もあり、期間のはじめには雷雨となった所があった。</p> <p>下旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日もあった。また、暖かい空気に覆われることが多く、気温はかなり高くなった。</p>

10月	<p>上旬：高気圧と低気圧が交互に通過し、数日の周期で天気に変化した。期間を通して暖かい空気に覆われることが多く、気温はかなり高くなった。</p> <p>中旬：低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなった。12日を中心に台風第19号の影響で暴風や大雨となり、広い範囲で河川の氾濫や土砂災害、浸水害が相次ぎ、人的被害や建物・ライフライン等への被害が発生した。</p> <p>下旬：高気圧と低気圧が交互に通過し、数日の周期で天気に変化した。25日は本州南岸を発達しながら移動する低気圧に南から湿った空気が流れ込み、台風第21号による湿った空気の影響も受けて、大雨となった。</p>
11月	<p>上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、期間の前半に低気圧の影響で雨の日もあった。</p> <p>中旬：低気圧や前線の影響で曇りや雨の日があったが、期間を通じて晴れの日が多くなり、気温がかなり高い日があった。</p> <p>下旬：低気圧や気圧の谷の影響により、曇りや雨の日が多くなった。22日から23日は前線を伴った低気圧が本州南岸を通過したため、大雨となった。</p>
12月	<p>上旬：高気圧と低気圧が交互に通過し、数日の周期で天気に変化した。</p> <p>中旬：短い周期で気圧の谷が通過し、晴れの日もあったが曇りや雨の日もあった。また、暖かい空気に覆われることが多く、気温の高い日が多くなった。</p> <p>下旬：高気圧と低気圧が交互に通過し、数日の周期で天気に変化した。</p>
1月	<p>上旬：冬型の気圧配置により晴れの日が多くなったが、中頃からは低気圧や気圧の谷の影響で雨やみぞれの降った日もあった。</p> <p>中旬：高気圧に覆われて晴れの日もあったが、気圧の谷や湿った空気の影響により、曇りや雨の日もあった。また、気温の高い日が多くなった。</p> <p>下旬：低気圧や前線の影響により、曇りや雨の日が多くなった。また、気温はかなり高くなった。</p>
2月	<p>上旬：冬型の気圧配置や高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。気温については、前半は暖かい空気に覆われて高く、後半は冷たい空気の影響で低くなり、寒暖の差が大きくなった。</p> <p>中旬：高気圧に覆われて晴れの日があったが、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日もあった。また、暖かい空気に覆われることが多く、気温がかなり高くなった。</p> <p>下旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、低気圧や前線の影響により、曇りや雨の日もあった。また、暖かい空気に覆われることが多く、気温の高い日が多くなった。</p>
3月	<p>上旬：低気圧や湿った空気の影響により、曇りや雨の日が多くなった。また、暖かい空気に覆われることが多く、気温がかなり高くなった。</p> <p>中旬：高気圧に覆われて、晴れの日が多くなったが、期間の中頃に低気圧や前線の影響で曇りや雨の日もあった。気温についても、平年より高くなったが、期間の中頃は、上空の寒気の影響で平年並となった。</p> <p>下旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、低気圧や前線の影響により、曇りや雨の日もあった。29日には、南岸を通った低気圧と寒気の影響で雪が降った。</p>